

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域協働による一の瀬産「信州ひすいそば」のブランド化推進及び当該山間地域における6次産業事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 Mi-Sha
事業区分	(6) オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	3,839,400 円 (うち支援金: 2,879,000 円)

事業内容

地域協働による一の瀬産「信州ひすいそば」のブランド化推進事業

- (ア) 玄そば脱皮機：玄そばからそば殻を取り除き、丸ヌキを採取する機械。
- (イ) そば製粉システム：日本古来の「挽きぐるみ」というそば粉製法をシステム化することにより、製粉作業を効率的に行える機械。
- (ウ) 乾燥後のそばから、ゴミ(葉・枝・虫)を取り除きます。

設置場所：長野県松本市大字三才山1465 NPO法人 Mi-Sha 作業場内



【玄そば脱皮機】

【目標・ねらい】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 美味しいそばをたくさんつくる。
作付面積を増やす：H29年度=346a 3 H30年度=398a
- ② 美味しいそばを求めて人はやってくる。
美味しい一の瀬産の「信州ひすいそば」の販売拠点(そば店=NPO法人 Mi-Sha 運営)が、三才山という限界集落化した地域に12月「みすづ」開店。

- ① そば耕作面積拡大
- ② そばの販売拠点を作る
- ③
- ④

※自己評価【 B 】

【理由】
そばの耕作予定達成。
順調に製粉できている。
販売拠点が開店。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

より多くの方に「信州ひすいそば」を味わっていただくために発信をしていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある